

平成27年11月 全国百貨店売上高概況

平成27年12月18日

I. 概況

1. 売上高総額	5,418億円余
2. 前年同月比	-2.7% (店舗数調整後/8か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	82社 238店 (平成27年10月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,035,271㎡ (前年同月比:-1.1%)
5. 総従業員数	77,323人 (前年同月比:-1.6%)
6. 3か月移動平均値	4-6月 6.4%、5-7月 3.3%、6-8月 2.2%、 (店舗数調整後) 7-9月 2.7%、8-10月 2.9%、9-11月 0.9%

[参考] 平成26年11月の売上高増減率は-1.0% (店舗数調整後)

【11月売上の特徴】

月全般を通じた天候不順や温暖な気候、土曜日の1日減などから、総額では2.7%減となり、8か月連続の前年クリアには至らなかった。地区別でも東京(+0.2%)、京都(+0.6%)の2地区を除き、各地区で前年実績を下回る厳しい結果となった。

商品別では、主要5品目(衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品)のうち雑貨(+7.2%)が8か月連続で前年を確保したものの、平均気温が高く推移したため、コートやジャケットなど重衣料の動きが鈍く、主力の衣料品が8.5%減に終わったこと、前月まで7か月連続で前年を確保していた身のまわり品がマイナスに転じたことなどが下ぶれの要因となった。

細分類は化粧品(+11.1%)が全18地区中12地区、美術・宝飾・貴金属(+11.3%)が同13地区でプラスと、それぞれ8か月連続で2桁増を記録する一方、これまで好調だった紳士服、子供服が伸び悩み、生鮮食品、惣菜も精彩を欠いた。

訪日外国人動向は、購買客数が72.4%増(約21万人)、売上高も66.5%増(約156億円/累計約1765億円)と2013年2月から34か月連続のプラス。消耗品シェアも確実に実績を高め、昨年10月の免税制度改正以降最高となる22.7%を記録した。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「11月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。西日本中心に曇りや雨の日が多く、西日本では日照時間が統計開始以降最も少ない月となった。また、全国的に気温が高く、特に中旬は記録的な高温となった。
一方で、下旬は気温が低い日もあったが、低気圧の影響で北日本では大荒れとなり、北海道では大雪を記録した。
- (2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比+0.2日)
- (3) 土・日・祝日の合計 11日(〃 -1日/土曜1日減)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数137店舗)
①増加した:19店、②変化なし:32店、③減少した:86店
- (5) 11月歳時記(七五三、歳暮、クリスマス・迎春関連)の売上(同上/有効回答数115店舗)
①増加した:11店、②変化なし:69店、③減少した:35店

全国百貨店 売上高速報 2015年11月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	541,890,445	100.0	-2.7 (-2.9)
10都市	364,788,221	67.3	-1.4
札幌	13,083,859	2.4	-2.9
仙台	7,333,246	1.4	-3.3
東京	146,190,352	27.0	0.2
横浜	32,993,033	6.1	-3.7
名古屋	32,645,672	6.0	-3.7
京都	21,982,559	4.1	0.6
大阪	68,200,600	12.6	-1.2
神戸	13,675,397	2.5	-3.7
広島	11,196,935	2.1	-3.8
福岡	17,486,568	3.2	-2.6
10都市以外の地区	177,102,224	32.7	-5.4 (-6.0)
北海道	2,631,212	0.5	-9.1
東北	8,620,062	1.6	-7.9
関東	81,023,433	15.0	-6.2
中部	12,594,611	2.3	-6.2
近畿	23,382,883	4.3	-3.9
中国	12,667,207	2.3	-2.8
四国	9,107,254	1.7	-4.0
九州	27,075,562	5.0	-4.7 (-8.0)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	541,890,445	100.0	-2.7 (-2.9)
紳士服・洋品	40,665,889	7.5	-9.2 (-9.3)
婦人服・洋品	109,614,447	20.2	-9.0 (-9.2)
子供服・洋品	11,009,438	2.0	-5.5 (-5.6)
その他衣料品	12,314,840	2.3	-4.9 (-5.2)
衣 料 品	173,604,614	32.0	-8.5 (-8.7)
身のまわり品	65,506,708	12.1	-0.8 (-0.9)
化粧品	36,675,288	6.8	11.1 (10.9)
美術・宝飾・貴金属	31,145,674	5.7	11.3 (11.1)
その他雑貨	19,880,710	3.7	-4.3 (-4.6)
雑 貨	87,701,672	16.2	7.2 (7.0)
家 具	6,205,552	1.1	0.5 (0.2)
家 電	2,186,710	0.4	2.8 (2.6)
その他家庭用品	16,439,861	3.0	-6.0 (-6.2)
家 庭 用 品	24,832,123	4.6	-3.7 (-3.9)
生 鮮 食 品	33,126,494	6.1	-4.8 (-4.9)
菓 子	38,705,476	7.1	-0.7 (-0.8)
惣 菜	32,685,512	6.0	-1.9 (-2.0)
その他食料品	55,782,615	10.3	-0.5 (-0.7)
食 料 品	160,300,097	29.6	-1.7 (-1.9)
食 堂 喫 茶	13,629,585	2.5	-3.8 (-3.9)
サ ー ビ ス	5,432,686	1.0	-10.6 (-10.8)
そ の 他	10,882,960	2.0	5.4 (5.3)
商 品 券	19,054,327	3.5	-6.6 (-6.6)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	-1.4% (8か月ぶりマイナス)
2. 10都市以外の地区売上動向	-5.4% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-1.4	-0.9	8か月ぶりマイナス
札幌	-2.9	-0.1	5か月ぶりマイナス
仙台	-3.3	0.0	3か月ぶりマイナス
東京	0.2	0.0	8か月連続プラス
横浜	-3.7	-0.2	5か月ぶりマイナス
名古屋	-3.7	-0.2	5か月ぶりマイナス
京都	0.6	0.0	4か月連続プラス
大阪	-1.2	-0.1	8か月ぶりマイナス
神戸	-3.7	-0.1	5か月ぶりマイナス
広島	-3.8	-0.1	2か月ぶりマイナス
福岡	-2.6	-0.1	5か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	-5.4	-1.8	2か月ぶりマイナス
北海道	-9.1	0.0	7か月連続マイナス*
東北	-7.9	-0.1	2か月ぶりマイナス*
関東	-6.2	-1.0	6か月連続マイナス
中部	-6.2	-0.1	2か月ぶりマイナス
近畿	-3.9	-0.2	2か月ぶりマイナス
中国	-2.8	-0.1	5か月ぶりマイナス*
四国	-4.0	-0.1	2か月ぶりマイナス
九州	-4.7	-0.2	5か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が8か月連続のプラスとなった。また、衣料品が2か月ぶり、家庭用品と食料品が3か月ぶり、身のまわり品が8か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品、美術・宝飾・貴金属が8か月連続、家具が3か月連続のプラス、家電が6か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.7	-	8か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-9.2	-0.7	5か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-9.0	-1.9	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-5.5	-0.1	5か月ぶりマイナス
その他衣料品	-4.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
衣料品	-8.5	-2.9	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	-0.8	-0.1	8か月ぶりマイナス
化粧品	11.1	0.7	8か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	11.3	0.6	8か月連続プラス*
その他雑貨	-4.3	-0.2	3か月ぶりマイナス*
雑貨	7.2	1.1	8か月連続プラス
家具	0.5	0.0	3か月連続プラス
家電	2.8	0.0	6か月ぶりプラス
その他家庭用品	-6.0	-0.2	2か月ぶりマイナス
家庭用品	-3.7	-0.2	3か月ぶりマイナス
生鮮食品	-4.8	-0.3	20か月連続マイナス*
菓子	-0.7	0.0	3か月ぶりマイナス*
惣菜	-1.9	-0.1	8か月ぶりマイナス*
その他食料品	-0.5	0.0	3か月ぶりマイナス*
食料品	-1.7	-0.5	3か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-3.8	-0.1	2か月ぶりマイナス
サービス	-10.6	-0.1	5か月連続マイナス
その他	5.4	0.1	4か月連続プラス
商品券	-6.6	-0.2	57か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>